

▶ 詳細

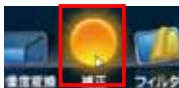
■ 校務効率化

大切なクラスや学年の集合写真に不要なもの（レンズのゴミなど）が写り込んでしまった場合、周辺の似た色で消すことができます。

写真の日付が不要になったときやスキャナーで読み取ったときにゴミ取りにも活用することができます。

画像の日付を削除しよう

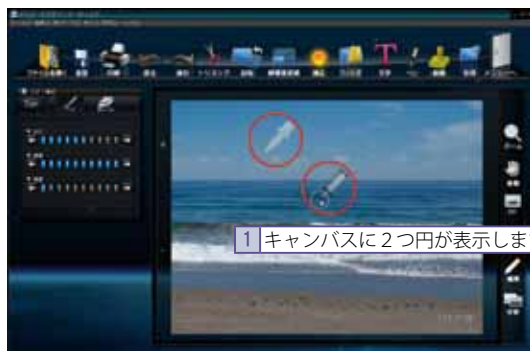
- ① ツールバーの [補正] を選択します。



- ① [コピー修正] を選択します。



- ② キャンバスにマウスポインタを合わせると、2つの円が表示します。



- ① キャンバスに2つ円が表示します。



- A コピー元

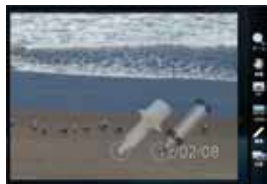
スポイトのイラストが付いた円の範囲を読み取ります。

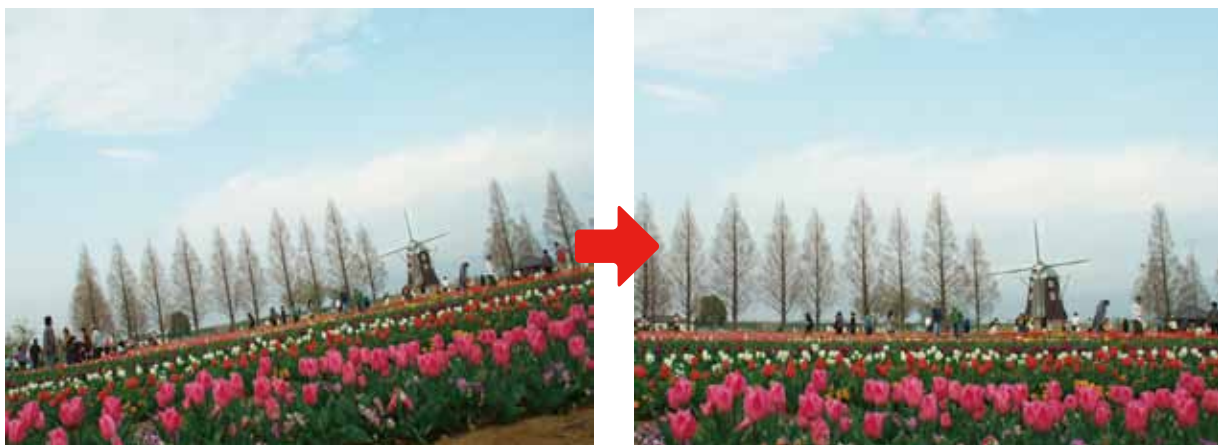


- B コピー先

ペンのイラストが付いた円の範囲へ読み取った部分をペンでなぞるように写真をコピーします。

- ③ キーボードの [Ctrl] キーを押したままにすると [A] の位置が固定されます。[B] の位置が確定したらキーボードから指を放し、消去したい部分を [B] でドラッグします。





▶ 詳細

■ 校務効率化

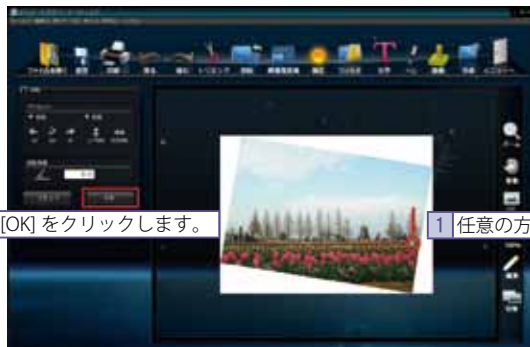
撮影時に足元が悪かったり、三脚でカメラを固定したけど角度がずれてしまうことが多々あります。地平線や学校のグラウンドを撮影した場合、写真が上下に二分されて見えるので角度がずれていると目立ちます。ここでは写真の角度を微調整して写真を正しい角度に整えることができます。

画像を回転して正しい位置にしよう

- 1 ツールバーの [回転] を選択します。



- 2 キャンバスの写真の上にマウスポインタを合わせ任意の方向へドラッグして角度を変えます。

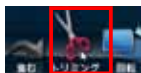


2 [OK] をクリックします。

1 任意の方向へドラッグします。

余分な部分を切り取る

- 1 ツールバーから [トリミング] を選択します。



- 2 コントロールの [領域選択] から [型] を選択します。



1 [領域選択] をクリックします。

2 [長方形] を選択します。

3 [OK] をクリックします。



[2] で選択した型が緑色の点線が表示され、切り抜かれる部分だけ明るく表示されます。

▶ ATTENTION

ドラッグ中は画像がモザイク状になりますが、ドラッグしている指を放すと、元の画像の状態に戻ります。



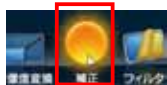
▶ 詳細

■ 校務効率化

太陽やライトの光に向かって撮影をすると、被写体に対する光が少なく暗く写ってしまう（逆光撮影）ことが多いです。大切な瞬間なので光の方向などを考えて撮影することが難しいかと思えます。逆光補正は暗く写ってしまった写真の明るさを調整して適切な明るさにすることができるので、生き生きした生徒の動きをそのまま残すことができます。

補正の種類を選ぼう

- 1 ツールバーから [補正] を選択します。



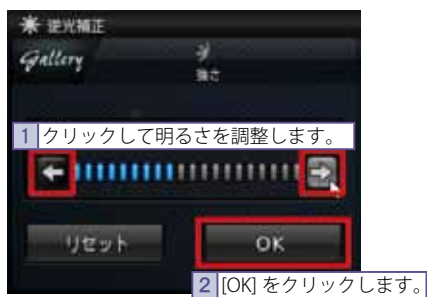
[補正プレセクション]



[補正]-[逆光補正] に切り替わります。

被写体の明るさを調整しよう

- 1 [明るさ] のスライダーを右へ移動すると被写体が明るくなり、左へ移動すると被写体が暗くなります。



[調整前]



[調整後]



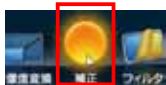
詳細

■ 校務効率化

教室での撮影で暗く写ってしまった写真や、体育祭のときに炎天下の下で撮影した明る過ぎてぼやけ写ってしまった写真を補正することができます。暗くなってしまった写真は [明るさ] を調整し、ぼやけてしまった写真はコントラストを調整してメリハリのある写真にすることができます。

補正の種類を選ぼう

- 1 ツールバーから [補正] を選択します。



[補正プレセクション]



[補正]-[明るさ/コントラスト]に切り替わります。

被写体の明るさを調整しよう

- 1 スライダーを右へ移動すると被写体が明るくなり、左へ移動すると被写体が暗くなります。



[調整前]



[調整後]

ホワイトバランスを調整

▶▶▶ 記憶の色味に



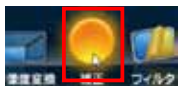
実践の詳細

■ 校務効率化

蛍光灯の下で撮影をするとピンク色っぽく写ったり、青白く写ってしまったりと目で見たと違う撮影結果になることがあります。そんなときに被写体の肌の色や白い部分を基準にして高品位な補正を行えるのが「ホワイトバランス」補正です。色温度や色偏差を自動で認識して写真にとって最適に色味に補正します。

補正の種類を選ぼう

- 1 ツールバーから [補正] を選択します。



[補正プレセクション]

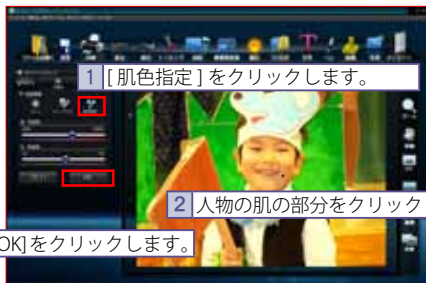


[補正]-[ホワイトバランス] に切り替わります。

被写体のホワイトバランスを調整しよう

人物

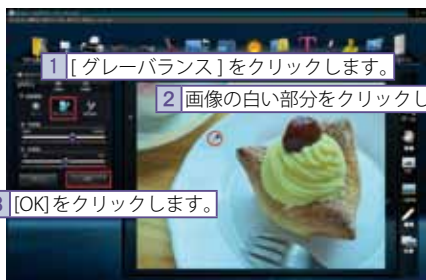
[肌色指定] を選択して人物の [肌] の部分をクリックします。



[調整後]

白を基準

[グレーバランス] を選択して画像の白い部分をクリックします。



[調整後]